

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-12	事務事業名 平和祈念式典への市民派遣事業	所管部課 市民生活部生活文化課					
事務事業の概要	事務事業の目的 平和の意義の普及および平和意識の高揚に努め、市民の豊かで平和な生活の維持向上に資すること。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)人権と平和の尊重(創1-1) (主要施策)平和意義の醸成					
	実施内容、実施方法 青少年平和の旅 平成15年度より戦争を知らない若い世代への平和意識の高揚をはかるため、派遣対象を青少年としている。	根拠法令等 西東京市平和推進に関する条例					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )					
評価指標の設定	活動指標名 参加者数	活動指標の考え方(定義) 青少年平和の旅に参加した人数					
	実施回数	青少年平和の旅を実施した回数					
	成果指標名 応募率	成果指標の考え方(定義) 募集人数に対する応募人数の割合(定員割れしないよう、毎回100%超が目標)					
	事後事業参加率	旅の参加者がその後の事業に参加した割合(各事業を平均し、75%超が目標)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		1,519	1,182	1,285	1,228	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,519	1,182	1,285	1,228	
	所要人員(B)	人	2.00	2.00	2.00	2.00	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,492	16,546	16,656	16,656	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	18,011	17,728	17,941	17,884	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加者数)	千円	901	1,364	1,282		
	歳入	千円	598	260	280	240	
	活動指標	目標値	人			15	12
		実績値	人	20	13	14	
活動指標	目標値	回			1	1	
	実績値	回	1	1	1		
成果指標	目標値	%			100.0	100.0	
	実績値	%	100.0	87.0	93.0		
成果指標	目標値	%			75.0	75.0	
	実績値	%	0.0	60.0	71.0		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	参加者から事業内容について概ね好評である。 非核・平和をすすめる西東京市民の会からも当事業の意義が大きいとの指摘がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	都内26市のうち実施しているのは西東京市を含めて4市と少ない。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 4-1-12	事務事業名 平和祈念式典への市民派遣事業	所管部課 市民生活部生活文化課
---------------	-------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	定員を割ることがあるものの、参加者からは事業内容について好評を得ている。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	都内26市のうち4市のみしか実施していない状況に鑑みると継続の必要性について再度検討が必要である。しかし、当事業はその他の平和事業への架橋としての役割も担っており平和事業の要となっているため、その重要性は高い。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	式典への参加、平和記念資料館等の見学、被爆者の講話等3日間の全行程を活用して、平和の意義の普及・啓発をはかっている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	対象を青少年としていることについては、戦争を知らない若い世代への平和の意義の普及という合理的理由があると言える。 費用については一人あたり9万円程度かかるところを2万円の参加費で事業を行っていることについては受益者負担が適性であるとは言い難い。今後は参加費の引き上げ、もしくは参加者の平和事業への貢献度合を上げる事が検討課題である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	事業の目的・内容についての重要性は変わらないが、その実施方法・PR・他の平和事業との有機的な連携をはかることによって、より効率的で効果的な事業展開が期待できる。

17年度における改善点	青少年平和の旅参加者に他事業(映画会・コンサート・学習会)の都度、参加の案内を送付し、若い世代の平和事業への継続的な参加を促す。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。